

エンタメ・クリエイティブ政策研究会【アート】

2024/02/26

協会について

一般社団法人 日本現代美術商協会（CADAN: Contemporary Art Dealers Association Nippon）は、日本の現代美術の振興と普及、現代美術市場の確立と発展、現代美術作家の国際的な認知度の向上、若手作家への支援と人材の育成を目指し、日本の現代美術の発展に寄与することを目的として設立された非営利の業界団体。

主な事業内容

●情報集配、調査研究、提言

- ・国内外の美術の市場動向、文化政策、税制や著作権といった法律や制度などの調査、情報収集。
- ・文化芸術関係の行政機関等との情報交換ならびに協力及び提言。
- ・現代美術の作家・作品情報のアーカイブ化事業。

●セミナー

- ・会員をはじめ、一般の方々を対象に現代美術に関わるセミナーやシンポジウムを随時開催。

●交流・連携

- ・美術商としての問題意識の共有と解決策の議論と取り組みの実施。
- ・国内外のギャラリー及び業界団体との連携と関係強化。
- ・会員相互のネットワークのほか、協会を通じて各界の専門家と交流を図る。

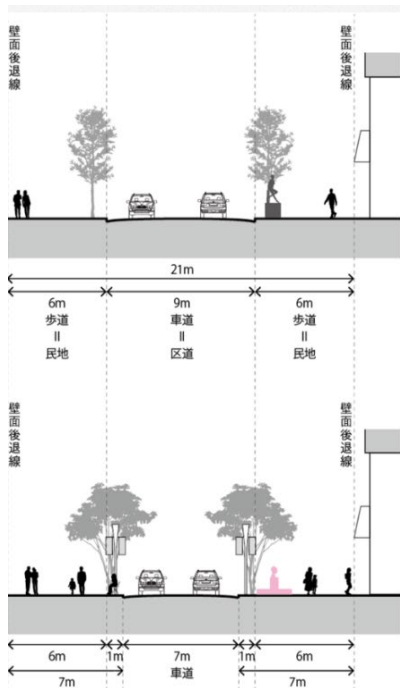
●ホームページ運営、出版事業、広報

- ・ アートによって、場所そのものを豊かにする（価値を高める）
- ・ アートによって、創造性を高める

場所そのものを豊かにする（価値を高める）

仲通り「丸の内ストリートギャラリー」

三菱地所が主体となり50年以上続く活動。
公共空間に良質なアート作品が存在することで賑わいの形成や
人々の滞留と回遊オフィスワーカーや来街者の満足度の向上等
プレイスメイキングの効果が期待されている。



当時の仲通りの様子



当時の展示作品



現在の仲通りの様子



現在の展示作品
舟越桂「私は街を飛ぶ」(2022年 / ブロンズ、塗料)

「ハチ公の部屋」

渋谷を代表するアイコンである「ハチ公」像に現代アーティスト
西野達氏がベッドルームを作ったインスタレーション。
11月12日に24時間限定で実施され国内外の多くの人で
賑わった。



創造性を高める

「Living with Art Project」

ADKホールディングスでは企業がアート作品を購入し従業員に貸し出す社内制度を実施している。

次世代を担うアーティストの活動の支援とともにアート作品が社員の気持ちに潤いを与えるとともに、その創造性を刺激することなどを目的としている。



「Art in Student Life Project」

日本情報産業株式会社と連携し、2025年1月から明治大学駿河台キャンパス内に人気現代美術家・蜷川実花の作品「Eternity in a Moment」を3年間展示し同大学の学生にクリエイティブで実りある生活を送ってもらうよう支援を始めた。アメリカMITでも同様の取組が行われている。



経産省美術館構想

経済産業省の幹部室などにアート作品を掲載。

またアーティストの思いや制作に関する姿勢などを経産省職員に伝え新たな発想の源泉にするためのアーティストトークを随時開催し、様々なポジティブな効果も確認。



- ・ 日本のアート・アーティストには高いポテンシャルがある
- ・ アート・アーティストが海外へ進出できるような支援に期待
- ・ より多くの企業がアートと関わることができるような制度措置などに期待